

生きている音だからできること

— ライブ演奏音響ロスレス配信実験 —

どんな研究？

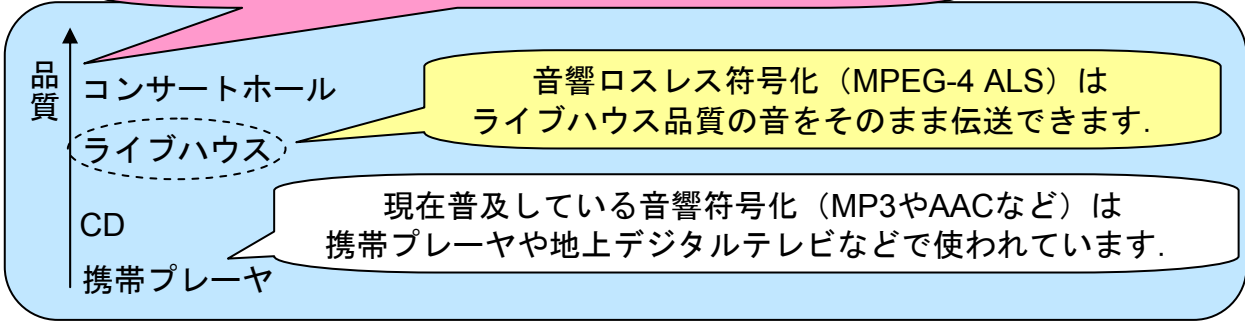
- 音響ロスレス符号化 (MPEG-4 ALS) を用いて、ライブ演奏会場の音データを原音のまま中継会場にリアルタイム（実時間）で伝送する実験を行いました。
- ネットワークを通して、音の品質を重視したコンテンツを伝送することが可能です。

もたらされる変革

- 生演奏会場の音データ16チャンネル分をそのまま中継会場に送れるので、中継会場の環境にあわせた音のミキシングを行うことが可能になりました。
- 中継会場でも高臨場感のコンテンツを楽しむことができるようになります。



より高品質な音を求めて研究していきます！



関連文献

鎌本, 守谷, 原田, Csaba Kos, “ロスレス・オーディオ符号化MPEG-4 ALS の高性能化,” NTT 技術ジャーナル, Vol.20, No.2, pp.11-18, February 2008.
 原田, 守谷, 鎌本, “MPEG-4 ALS の性能・応用と関連する標準化活動,” NTT技術ジャーナル, Vol.20, No.2, pp.19-25, February 2008.

連絡先: 鎌本優 (Yutaka Kamamoto)
 守谷特別研究室